



2学期を振り返る

「あるがまま」という言葉があります。どういう意味があるのでしょうか。日常よく使われるのは「カッコつけなくてもいい」「自分をつくらなくてもいい」「無理しなくてもいい」「ふつうにしてたらいいい」「リラックスしていい」・・・などの言い回しで使われます。

これらをひとつの言葉にすると「自分らしく」ということでしょうか。ただ、「自分らしく生きよう」と言われても「自分らしさ」がどういうものなのか実感できない人には、きっとどう生きていけばよいのかわからないと思います。「あるがまま」という言葉も「？」という人もいるでしょう。

では、「あるがまま」のモノサシはあるのでしょうか。「あるがままの自分」を見つける方法として「私は～である」を考えるといいと思います。もちろん人に尋ねるのではなく自分で考えます。

いいことも、悪いことも、強いことも、弱いことも、優れていることも、劣っていることも・・・これらがあるから生きていけるし、自分を知ること、次のステップを踏み出すことができると思います。そして、魅力やあこがれを感じ、めあてを掲げ素直な気持ちで努力することができるのではないのでしょうか。

成長を「ジャンプすること」と置き換えると、ジャンプする前には人は必ず「しゃがむ」のです。しゃがまないとジャンプできません。しゃがむことは自然なことです。しゃがむことをマイナスイメージでとらえられることがあります。決してそうではありません。しゃがむことはリラックスすることだと思います。そうです、「あるがまま」と同じなのです。

行事の多い2学期の中で子どもたちは確実に成長しています。今までの自分の姿や能力（あるがままの自分）を直視し、あこがれの気持ちから目標を定め努力する。そして、好結果をもたらした自分、以前より大きくなったあるがままの自分を誇らしく思う。これらが正のスパイラル（らせん状）になればますます成長の度合いは大きくなることでしょう。

2学期が終わります。今学期も本校教育にご理解とご支援を賜り心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。年の瀬、何かとあわただしいかと思いますが、ご健康で新しい年を迎えられることをお祈りします。